



▶今年春に開催された、第18回定期演奏会のポスター。部員による手作り、ポスターの掲示場所の交渉なども部員たちが行った。第19回の定期演奏会は2017年3月19日に開催

自分たちの力を出してやりきることができたとき、そして上の大会に出場できたときには、大きな達成感を感じます！

碧南高校吹奏楽部
部長 賀数紀香さん(2年生)
担当はトランペット。「楽器を吹かせたらピカイチなんです」と平山先生



▲平成28年「中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会」にて金賞を受賞したときの様子。一位・県代表として、「同コンクール中部日本大会」に出場する



碧南高校吹奏楽部 TEL:0566-41-2564

- 主な成績
- 平成27年度
愛知県吹奏楽コンクール西三河南地区大会 金賞
中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会 金賞
 - 平成28年度
愛知県吹奏楽コンクール西三河南地区大会 銀賞
中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会 金賞(一位、県代表)

愛知県立 碧南高等学校吹奏楽部

仲間とつくる、まちと奏でる

ハロー

フリモARで動画をチェック!

「中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会」で金賞を受賞。県代表として、本戦である「中部日本吹奏楽コンクール中部日本大会」に向けて毎日練習に励んでいる碧南高等学校吹奏楽部。音楽を生みだす部員たち、顧問の先生の思い、そしてまちとの関わりなどを「紹介」します。

みんなでひとつになって46人で奏でるサウンド

1年生28名、2年生13名、3年生5名。部員数46名の碧南高校吹奏楽部はこの5月から新体制となり2年生の部長が部を引っ張っています。取材におじゃましたのは夏休みも終わろうかという8月末。部員たちは、夏休みもほぼ毎日練習に励んでいます。「家族と過ごすよりも長い時間練習しているでしょうね」というのは顧問の平山先生。現在の吹奏楽部は「おとなしい印象」。協調性があり部員同士仲も良いのですが話し合などでは相手に深く踏み込むことが苦手と感じる場面もあるのだとか。「性格がそのまま音になりますから、部員もおとなしい子が多いのだと思います。みんな

でひとつの音をつくるには「コミュニケーション」は必須ですから、協調性があるのはとてもいいこと。46人でひとつの方向を見ていくことをいつも意識しています」。新部長となった2年生の賀数さんは人前で話すのが苦手ですが、先輩たちから次期部長に選ばれ、多彩な個性を持った部員たちをまとめていくため奮闘しています。「誰でも弱いところはあります。演奏はもちろん、自分の弱いところと向き合うことが大切だと思うんです」と平山先生。こうした平山先生の熱意あるご指導のもと、毎日毎日気持ちをひとつにして練習に励むことで、平成28年度中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会では金賞を受賞。46人の思いを込めて、碧南高校吹奏楽部でしか出せないサウンドを響かせています。

吹奏楽コンクールへの参加以外にも、毎年1回定期演奏会を開催したり、毎年12月に行われる碧南ライオンズクラブ主催「親子ふれあいコンサート」、愛知県高等学校吹奏楽連盟西三河南支部が主催する「西三河南地区高等学校吹奏楽フェスティバル」などにも参加。昨年度は、県と碧南市共催の「三河湾大感謝祭」でも演奏する「演奏で会場がひとつになる」一体感を感じるには46人がただ音を出すだけではダメで、技術はもちろん、呼吸や細やかな音の大きさを揃えなければなりません。そのためには一度きりの本番に向けて練習をするしかないんです。日々の練習で生徒たちは悩み、心が折れそうになることもあります。けれど頑張っ

やりきったという生徒の笑顔が私の喜びでもあります」とお話ししてくださいました。

まちに支えられ、感謝の気持ち音楽で恩返し

華やかな演奏会などの影で私たちがあまり気がつかないのが、吹奏楽の活動を行うには多くの費用がかかるということ。楽譜代、パンフレットなどの印刷代、ステージに関する費用などいろいろな経費がかかります。部員や学校の負担分もありますが限りもあるため、地元の企業や商店をまわり、演奏会のプログラムへの広告掲載料といったことで二〇四千元で協賛をお願いをしています。これは第1回

目の定期演奏会の頃からの慣例となっていて、部員たちが2人1組になって企業などを訪れ協賛のお願いをしています。「宣伝効果も期待してというよりは、生徒たちへのご厚意をいただいているということで、感謝して使わせていただいています」。また、演奏会告知のポスターも部員たちが制作し、掲示してもらえる場所を探してお願いにも出かれます。「駅や市役所、多くの人が訪れるようなところに張ってもらえるようお願いしています」と部長さん。演奏すること、技を磨くこと以外にも、音楽をつくりあげ聞いてもらうために地道な努力をしている様子は、今回の取材を通して初めてお聞きすることができました。日頃から演奏活動などで積極的にまちに

出かけているのは、地域の皆さんからのサポートへの恩返しの意味も込められているのではないのでしょうか。

定期演奏会などのイベントや催しは、部員たちの普段の練習の成果を見て聞いて感じることで、できる貴重な場。身近な地元の高校生たちが、まちと交流しながら音楽を作り上げている姿を見ることができ、絶好のチャンスです。取材中、和気あいあいと笑顔で話す様子や、ものごとくに打ち込む真摯な眼差しに、思わず胸がキュンとなりました。音楽好きの方はもちろん、なかなか機会がないという方も、ぜひ高校生たちのイキイキとした表情を見に出かけてみてください。

「定期演奏会」は、幅広い年齢層の方が楽しめることがモットー。クラシックが苦手な方でも楽しんでいただけます。



碧南高校吹奏楽部
顧問 平山悦子先生
担当教科は英語、進路指導主事でもある。中学の頃からずっとフルートを担当。現在でもフルートは現役

- 公演予定
- 中部日本吹奏楽コンクール中部日本大会
とき/10月9日(日)
場所/不二羽鳥文化センター
入場料/1,000円
 - 碧南高校吹奏楽部定期演奏会
とき/2017年3月19日(日)
場所/碧南市文化会館
入場料/無料

写真が動く! フリモAR 使用方法

App Store / Google play でフリモARを検索

- フリモARを起動して、Startマークをタッチ
- がった対象写真にカメラをかざすとスキャンがはじまります。
※写真の向きに併せてカメラをかざしてください
- スキャンに成功すると動画がスタート!

